

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いきいきの家 松戸

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 3 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	昨年から少しずつ地域とのつながりを持つことができるようになってきたが、まだ開設して3年ということで施設の存在を地域の方々に知って頂くまでに至っていない。	震災時などに、地域からの支援もお願いするところだが、逆に地域の高齢者を支援できる場所となるようアピールしていく。地域の方に認知症についての理解を深める手助けをしていきたい。	まずは積極的に外へ出ていく。施設の行事への参加を呼びかけていく。	6 月
2	13	eラーニングでのセルフスタディを行っているが、シフトの関係で全体での社内研修を開催することが難しく、参加率が低い。	全体社内研修を月1回継続して行っていく。	参加率を上げるための対策を検討する。また社内研修に参加しなかった職員への情報共有についてもその方法について検討していく。研修の必要性について職員に伝えていく。	6 月
3	36	待遇に力を入れている企業であるものの、まだまだ不足しているところが多い。GHは狭い空間のため、プライバシーを守れない場面もある。	職員一人一人が何故待遇が必要かということを理解し、自然な振る舞いとその結果待遇である、というところまで高め合っていく。	職種の上下関係や入職時期の前後などに関係なく誰もが、誰にでも「その言動はおかし」と注意し合える職場の雰囲気としていく。そのことを言葉でも伝えていく。	12 月
					月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。